

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム おおぞら
日付	平成19年2月15日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

外部評価の結果

<p>概評</p> <p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>住宅街の一角にあるにも関わらず、日中は静かで人通りが少なく日当たりの良いほのぼのとしたグループホームです。犬を2匹飼っていて入居者の癒しになっています。また買い物に良く出かけて、デパートなどに行くと子供のように無邪気になるようです。 入居者の方はたいへんおしゃれで、買って来た雑貨を部屋に飾り、喜んでいる姿も見られました。</p>
<p>改善の余地があると思われる点(記述式)</p> <p>・居間の食卓で長時間座っている入居者の姿が時折目に留まりました。集団でのレクリエーションは勧めませんが、機能維持の観点から何かが必要ではないかと思えます。 ・職員は、個々の仕事はしっかり出来ていますが、職員間の連携が不足し、少し見守りが出来ない場面も見受けられました。</p>

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 記述 回答	<p>グループホームとしてめざしているものは何か</p> <p>(記述式で回答)</p> <p>自宅にいるような雰囲気です。タ - ミナルまでの介助を目指しています。家庭で見ている状態が出来るように心がけています。入居者個々のペースで暮らして行けるように見守りを重視しています。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 記述 回答	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か</p> <p>(記述式で回答)</p> <p>・帰宅願望があれば職員は入居者と話をし納得させています。また買い物に連れて行き、気分転換をはかる事もあります。 ・職員は入居者に対して家族のように接し、話を聞いています。またゆっくりと声かけをしています。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	ブライトを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 記述 回答	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か</p> <p>(記述式で回答)</p> <p>・入居者の居室に入るときは必ず一声掛けてから入っています。そして、職員が入居者の話をするときは立ち話しないようにしています。 ・オムツ換えをするときは、持っている事が他の入居者に分からないように居室に入るようにしています。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 記述 回答	<p>サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。</p> <p>夜には居室のドアを半分開けさせてもらい、依然1時間おきにして見守りを、現在は20から30分おきにして見守りを、 ・外出の機会を多くするため、食事の材料を買いに行く時は入居者を連れて行くようにしています。決して無理強いはしません。</p>		